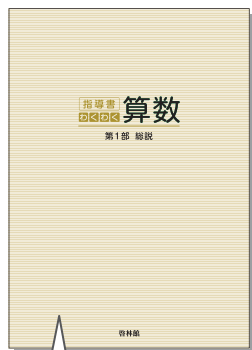


指導書のご紹介

第1部 総説



算数科全体や教科書の各内容を網羅した解説書

主な内容

- ・算数教育に対する基本的な考え
- ・教科書の構成
- ・指導法
- ・指導内容の解説

永年にわたり研究してきた内容をこの1冊にまとめました。

第2部 詳説



朱註

教室に持ち込んで授業ができる実践型の指導書

主な内容

- ・各単元の目標
- ・毎時の授業展開
- ・つまづきへの対策

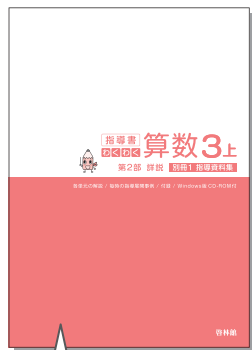
1時間の授業展開がわかる構成に改訂しました。
思考法単元（イルカマークの単元）はページを増やして指導しやすくしました。

別冊1 指導資料集

指導計画の立案や研究のための指導書

主な内容

- ・編集方針と教科書の構成
- ・各学年の指導内容
- ・各単元の解説、指導展開事例
- ・算数的活動について
- ・ノート指導について
- ・用語解説、領域別系統一覧表



指導展開事例として、
・指導細案
・指導略案
・少人数学習の指導案
の3パターンの例を示しました。

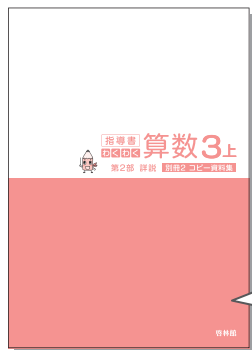
別冊2 コピー資料集

コピーして利用できる資料

主な内容

- ・授業用資料
- ・準備テスト、評価テスト
- ・読解力テスト

準備が大変な素材を豊富に用意しました。



別冊3 板書ブック

毎時の板書例集

主な内容

- ・板書の仕方
- ・毎時の板書例
- ・板書の際の留意点

毎時の板書例を1冊にまとめました。
教室に持ち込んで使えるようにしました。



添付CD-ROM

加工して利用できるデータ集

主な内容

- ・教科書図版データ
- ・問題データベース



問題データベースソフトを収録しました。

Microsoft Word を使って、コピー資料集のテストをもとに問題を追加、変更したテストの作成や、データベースに登録された教科書、指導書、自作の問題を組み合わせたオリジナルプリントの作成ができます。

第2部 詳説

朱註(本文ページ)

教科書の「学習の進め方」に即した授業展開で構成しました。

学習のめあてを示しました。

学習のまとめを示しました。

子どもたちのつまずきへのフォローを掲載しました。

第3時 8 あまりのあるわり算 (8時間) ① あまりのあるわり算のしかた

→ 第3時のねらい
・あまりは、いつもわる数より小さくなることを理解する

準備 (教) 数図ブロック (児) 数図ブロック

① どんな問題かな 5分
・問題1と②の文章を読ませ、課題を知る。
【発問1】 ひなたさんとだいちさんの計算は、どこがちがいますか。また、どちらが正しいですか。そのわけを言います。
【反応例】 ・ひなたさんの計算では7人、だいちさんの計算では3人あまっています。
・だいちさんの考えが正しいです。ひなたさんの計算では7人あまっているから、もう1組できます。
【問】 あまりとわる数の大きさを比べて、どちらが正しいかを説明することができます。《発言》

【めあて】 わる数とあまりの大きさについて考えよう。

② 自分で考えよう 10分
・②の文章を読ませ、課題を知る。
【発問2】 式にかき、できる組の数とあまる人数を求め、あまりの大きさをくらべてみましょう。
【手立て】 20÷4から24÷4までをノートに縦に並べて計算させる。

③ みんなで話しあおう 15分
【発問3】 あまりの大きさについて気づいたことを発表しましょう。
【反応例】 ・あまりはいつも4より小さい。
・あまりは1, 2, 3になっています、いつもわる数より小さくなっています。
【手立て】 「あまりがない」とは、あまりが0であり、わり切れていることを確認する。

【まとめ】 わり算のあまりは、いつもわる数より小さくなるようにすることをまとめる。

・あまりとわる数の式で示す。
④ たしかめよう 10分
・②の問題について、あまりの大きさに注意させて計算練習をさせる。
【問】 あまりはいつもわる数より小さくなることを理解している。 (ノート)
⑤ ふりかえろう 5分
【参 考】 必要に応じて、もっと練習 (p.131 64) に進ませる。

104

【あまりの大きさ】
わる数とあまりの大きさの関係

① 4人ずつ組になってダンスをします。
・人数が19人のとき、何組できて、何人あまるかをまとめるのに、ひなたさんとだいちは、下のよう考えて計算しました。
2人の計算をくらべてみましょう。
 $19 \div 4 = 3$ あまり 7
 $19 \div 4 = 4$ あまり 3
3組できて、7人あまるふ。
4組できて、3人あまるふ。
【めあて】 わる数とあまりの大きさについて考えよう。

② 人数が、20人、21人、22人、……のとき、できる組の数と、あまる人数を調べましょう。
【手立て】
 $19 \div 4 = 4$ あまり 3
 $20 \div 4 = 5$
 $21 \div 4 = 5$ あまり 1
 $22 \div 4 = 5$ あまり 2
 $23 \div 4 = 5$ あまり 3
 $24 \div 4 = 6$
【まとめ】 わり算のあまりは、いつもわる数より小さくなるようにします。
あまり<わる数

③ 練習
④ ② あまりの大きさに気をつけて計算しましょう。
⑤ ① $9 \div 2$ ② $42 \div 5$ ③ $61 \div 7$ ④ $70 \div 8$ ⑤ $43 \div 9$
4あまり1 8あまり2 8あまり5 8あまり6 8あまり7
【参 考】 必要に応じて、もっと練習 (p.131 64) に進ませる。

【つまずきと対策】 あまりの大きさを確認させる
わり算の計算をした後、あまりがわる数より小さくなっているかどうか必ず見直しするよう助言する。

【あまりとわる数の関係】
あまりとわる数の大小関係については、下のよう他の例を示して、まとめるとよい。本時の目的ではないが、商やあまりの数の並び方に目をつけ、商が規則正しく並んでいることや、あまりが(0), 1, 2, 3, …と繰り返すことの美しさを感じる児童がいたら、大いにほめてあげたい。
 $4 \div 4 = 1$
 $5 \div 4 = 1$ あまり 1
 $6 \div 4 = 1$ あまり 2
 $7 \div 4 = 1$ あまり 3
 $8 \div 4 = 2$
…… (あまり) < 4

第2部 詳説

別冊3板書ブック

朱註の授業展開に即した板書例を掲載しました。

板書の際の留意点を示しました。

8. あまりのあるわり算 p.104

第3時 板書例

① 4人ずつ組になってダンスをします。
・人数が19人のとき、何組できて、何人あまりますか。
式 $19 \div 4$

ひなたさんの考え
 $19 \div 4 = 3$ あまり 7
3組できて、7人あまる
もう1組できる。

だいちさんの考え
 $19 \div 4 = 4$ あまり 3
4組できて、3人あまる。

【めあて】 わる数とあまりの大きさについて考えよう。
② 人数が20人、21人、22人、……のとき、できる組の数と、あまる人数を調べましょう。
 $19 \div 4 = 4$ あまり 3
 $20 \div 4 = 5$
 $21 \div 4 = 5$ あまり 1
 $22 \div 4 = 5$ あまり 2
 $23 \div 4 = 5$ あまり 3
 $24 \div 4 = 6$
・あまりは、いつも4より小さい。
・あまりがないとき、わり切れる。
・あまりがない(0)、あまりが1, 2, 3と、くり返している。

【まとめ】 わり算のあまりは、いつもわる数より小さくなるようにします。
あまり<わる数

② あまりの大きさに気をつけて計算しましょう。
① $9 \div 2 = 4$ あまり 1
② $42 \div 5 = 8$ あまり 2
③ $61 \div 7 = 8$ あまり 5
④ $70 \div 8 = 8$ あまり 6
⑤ $43 \div 9 = 4$ あまり 7

【留意点】
・あまり7とあまり3の場合を対比してかき、ちがいに気づかせる。
・図の代わりに、丸を置いて操作の過程を示すようにしてもよい。
・19から24までの人数のあまりの結果を見て、気づいたことを発表させ、かく。
・あまりはわる数より小さくなることから、わる数の大きさに注意させる。答えは児童にかかせたり発表させたりする。